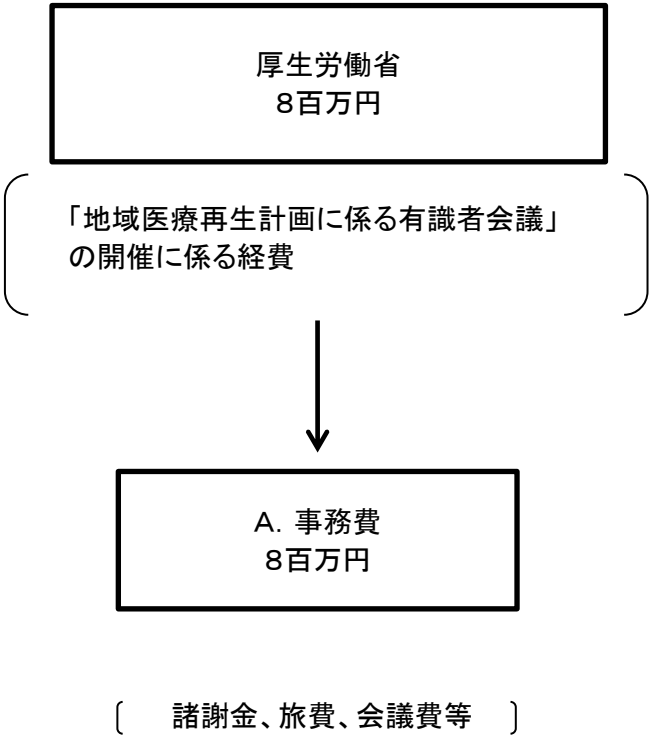


事業番号										0025					
平成 2 7 年度行政事業レビューシート（厚生労働省）															
事業名		地域医療再生計画に係る有識者会議開催経費				担当部局庁		医政局		作成責任者					
事業開始年度		平成 2 5 年度		事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室		地域医療計画課 医師確保等地域医療対策室		室長：佐々木 昌弘					
会計区分		一般会計				政策・施策名		I－1－1 日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること							
根拠法令 (具体的な条項も記載)		－				関係する計画、通知等		－							
主要政策・施策						主要経費		その他の事項経費							
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		各都道府県が策定する地域医療再生計画については、平成21年度補正予算～平成24年度補正予算により交付した地域医療再生臨時特例交付金を活用して実施しているところであるが、計画案の策定から進捗・成果の把握まで、有識者による会議から意見を聴取・反映することで、計画をより実効性のあるものとする。													
事業概要 (5行程度以内。別添可)		「地域医療再生計画に係る有識者会議」について、諸謝金、委員等旅費及び会場借料等にかかる経費の支払いを行う。有識者会議については、厚労省内において、有識者及び47都道府県の担当職員を集めた会議を行うほか、各ブロック(北海道、東北、関東信越、東海北陸、近畿、中国、四国、九州)の担当ごと(有識者2～3名＋職員3～4名)に現地視察を兼ねたブロック会議を開催し、各都道府県の医療関係者からのヒアリングを行い、計画の書面だけでは把握しきれない現状を把握する。													
実施方法		直接実施													
予算額・執行額 (単位:百万円)				24年度		25年度		26年度		27年度		28年度要求			
		予算 の 状 況	当初予算		－		8.9		9		8		8		
			補正予算		－		－		－		－				
			前年度から繰越し		－		－		－		－		－		
			翌年度へ繰越し		－		－		－		－				
			予備費等		－		－		－		－				
		計		0		8.9		9		8		8			
		執行額				8.4		0							
執行率（％）		－		94%		0%									
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		定量的な成果目標		成果指標			単位	24年度		25年度		26年度		目標最終年度 28 年度	
		平成28年度以降は、都道府県が策定した地域医療再生計画の事業について、一定の成果評価を行うことが本経費の主目標となる。		計画事業に対する評価実施完了の割合		成果実績	－	－		－		－			
						目標値	－	－		－		100			
						達成度	％	－		－		－			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標					単位	24年度		25年度		26年度		27年度活動見込	
		開催回数				活動実績	回	－		8		0			
						当初見込み	回	－		20		20		19	
単位当たりコスト		算出根拠					単位	24年度		25年度		26年度		27年度見込	
		実績額／開催回数				単位当たりコスト	円	－		1,112,500		－		421,052.6	
						計算式	実績額/開催回数	－		=8,400,000/8		－		=7,900,000/19	
平成 2 7 ・ 2 8 年度予算内訳 (単位:百万円)	費 目		27年度当初予算		28年度要求		主な増減理由								
	諸謝金		2		2										
	職員旅費		1		1										
	委員等旅費		2		1										
	庁費		3		4										
計		8		8											

事業所管部局による点検・改善						
	項 目			評 価	評価に関する説明	
国費 要投入 の必	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	地域医療再生計画をより実効性のあるものとするため、国費を投入して実施すべき事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	都道府県が計画を策定・実施することから、国において有識者による第三者の評価が必要である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	地域医療再生計画をより実効性のあるものとするため、重要な役割を果たしており、優先度が高い。	
事業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			-	-	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。			-	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	本会議の開催に必要な経費のみに限定している。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）			○	平成25年度までは計画に対する助言を行い、改善に資することを主な役割としていたが、平成26年度以降は計画変更はできないこととしたため、平成26年度には会議を開催していない。	
事業 性 の 有 効	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか			○	必要最小限の回数で積算している。	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか			-	-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			○	本会議の開催に必要な経費のみに限定している。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			-	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			-	-	
関連 事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）			-		
	所管府省・部局名		事業番号	事業名		
	-		-	-	-	
	-		-	-	-	
点 検 ・ 改 善 結 果	点検結果	当該事業は、地域医療再生計画をより実効性のあるものとするため、重要な役割を果たしている。 地域医療再生計画事業は、地域の医療課題を解決するために各都道府県が計画的に行う医療提供体制の基盤整備に対する重要な支援事業であり、平成25年度末までの計画期間となっている。 現在は平成25年度末までに開始した事業について延長して実施しており、計画変更はできないこととしたため、平成26年度には会議を開催していないが、平成27年度末までに事業の大半が終了することから、平成28年度において、有識者会議による一定の成果評価等を行うことを検討している。 また、東日本大震災による被災県において平成27年度末までを計画期間として進めている医療の復興計画事業についても、計画をより実効性のあるものとするため、本有識者会議による助言を行うことを検討している。				
	改善の 方向性	ブロック開催の会場については可能な限り都道府県庁の施設を借用するなど、これまでも節減に努めており、引き続き適切に執行していく。				
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状 通 り	当該事業は、平成25年度末までに開始した事業について延長して実施しており、計画変更はできないこととしたため、平成26年度には会議を開催せず、執行が無かったものはやむを得ないものとする。平成27年度においては、活動指標における当初見込み通り、会議を実施され、平成28年度においては、多くの会議が予定されているため、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状 通 り	-					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	
平成25年度	新25-003	平成26年度	30			

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途
(「資金の流れ」に
おいてブロックご
とに最大の金額
が支出されている
者について記載
する。費目と使途
の双方で実情が
分かるように記
載)

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					